

① 感染症発生動向調査(NESID)

概要

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条から第16条に基づき、

- ・感染症に関する医師等からの情報収集
- ・専門家による解析(必要に応じ、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための調査(積極的疫学調査))
- ・国民・医療関係者への情報提供及び公開

を行うことにより、感染症に対する有効かつ的確な予防対策を図り、多様な感染症の発生・拡大を防止する。

対象項目

全数報告: 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、又は新型インフルエンザ等感染症の患者又は無症状病原体保有者及び新感染症にかかっていると疑われる者、五類感染症の患者・無症状病原体保有者(省令で定めるもの)

定点報告: 五類感染症の患者・無症状病原体保有者(省令で定めるもの)、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症の疑似症(省令で定めるもの)

実施主体

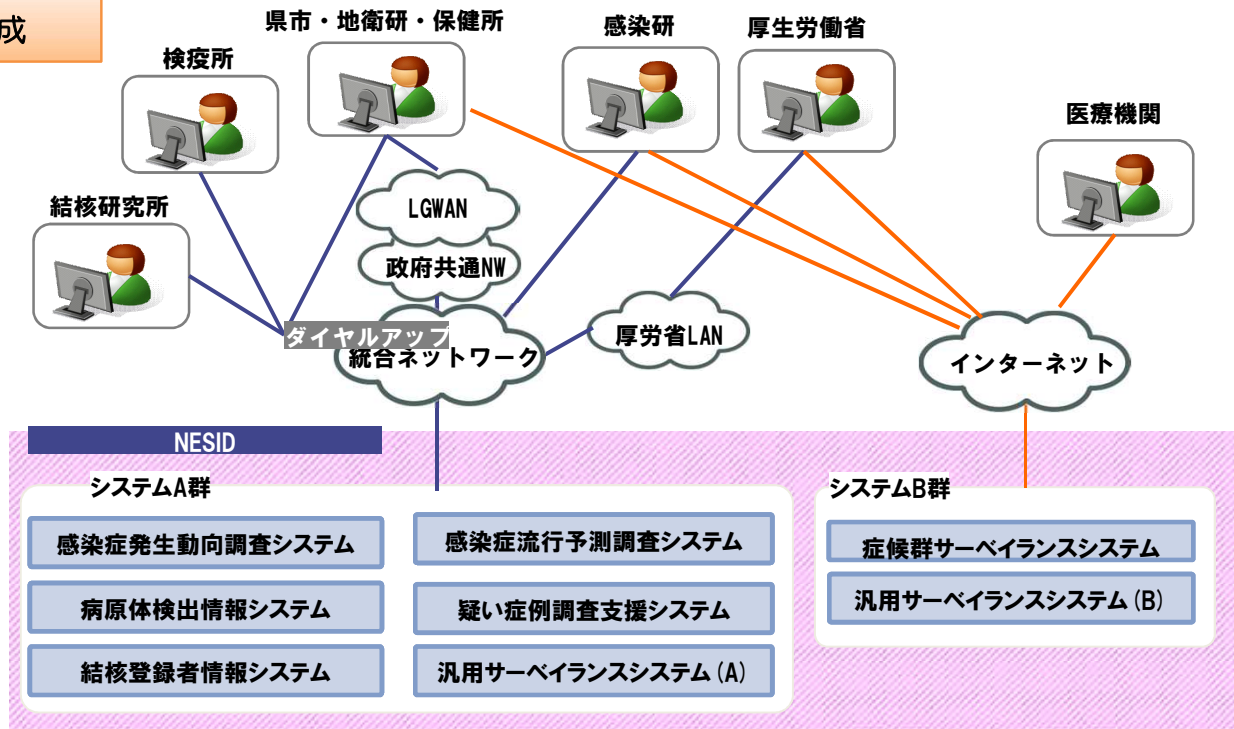
都道府県、保健所を設置する市、特別区

提出データ

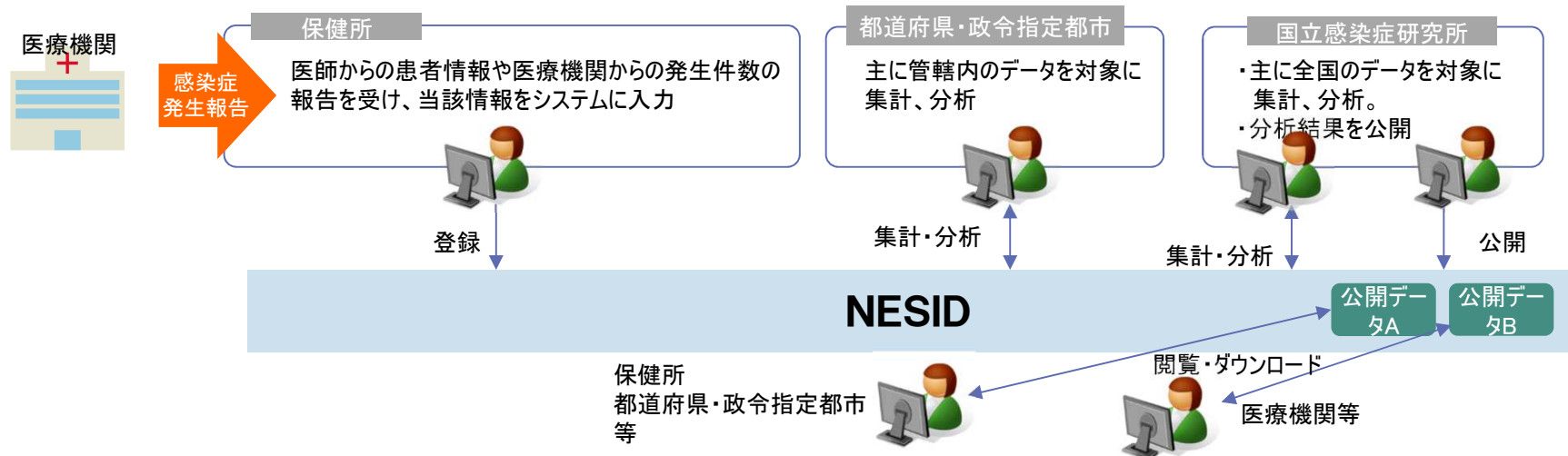
疾患ごとの届出様式による(症状、診断方法、感染経路等)

感染症サーベイランスシステム(NESID)の概要

1. システム全体構成



2. システムフロー（感染症発生動向調査システムの例）



②院内感染対策サーベイランス(JANIS)事業

出典:<http://www.nih-janis.jp/>

1 院内感染対策サーベイランス (JANIS) 検査部門

概要

医療機関の細菌検査で各種検体から分離される主要な細菌の分離頻度およびその抗菌薬感受性を継続的に収集・解析し、国内の医療機関における主要な菌種の分離状況や薬剤耐性の割合を明らかにする。

対象項目

- 主要な菌種および薬剤耐性菌の分離患者数、分離率
- 主要な菌種の各種薬剤に対する耐性の割合
- 参加機関ごとの主要な菌種および薬剤耐性菌の分離患者数、分離率、薬剤耐性の割合（自施設のデータと全参加医療機関のデータとの比較が可能）等

提出データ

細菌検査に関わる全データ

対象施設

医療機関（原則として19床以下を除く）

参加施設数

1,686施設（2016年9月現在）

2 院内感染対策サーベイランス(JANIS) 臨床系部門（入院、SSI, ICU, NICU）

概要

全入院患者、手術後の患者、ICU入院患者、NICU入院患者を対象として、主要な薬剤耐性菌等による感染症発症患者の発生状況を明らかにする。

対象項目

- 全入院患者部門：入院患者のうち該当薬剤耐性菌による感染症発症数を収集する。
- SSI 部門：各種手術手技における術後の手術部位感染（SSI）発生数を収集する。
- ICU 部門：集中治療室（ICU）入室患者における各種感染症発症患者数を収集する。
- NICU 部門：新生児集中治療室（NICU）入室患者における各種感染症発症患児数を収集する。

提出データ

全入院患者部門：入院患者数と、うち感染症を発症した患者数と薬剤耐性菌名等

SSI 部門：選定した手術手技に該当する全手術症例数と、SSIを発症した症例数ならびにその内容等

ICU 部門：熱傷患者を除く全入室患者数と、感染症を発症した患者数ならびにその内容等

NICU部門：出生体重群別全入室患児数と、感染症を発症した患児数ならびにその内容等

参加施設数

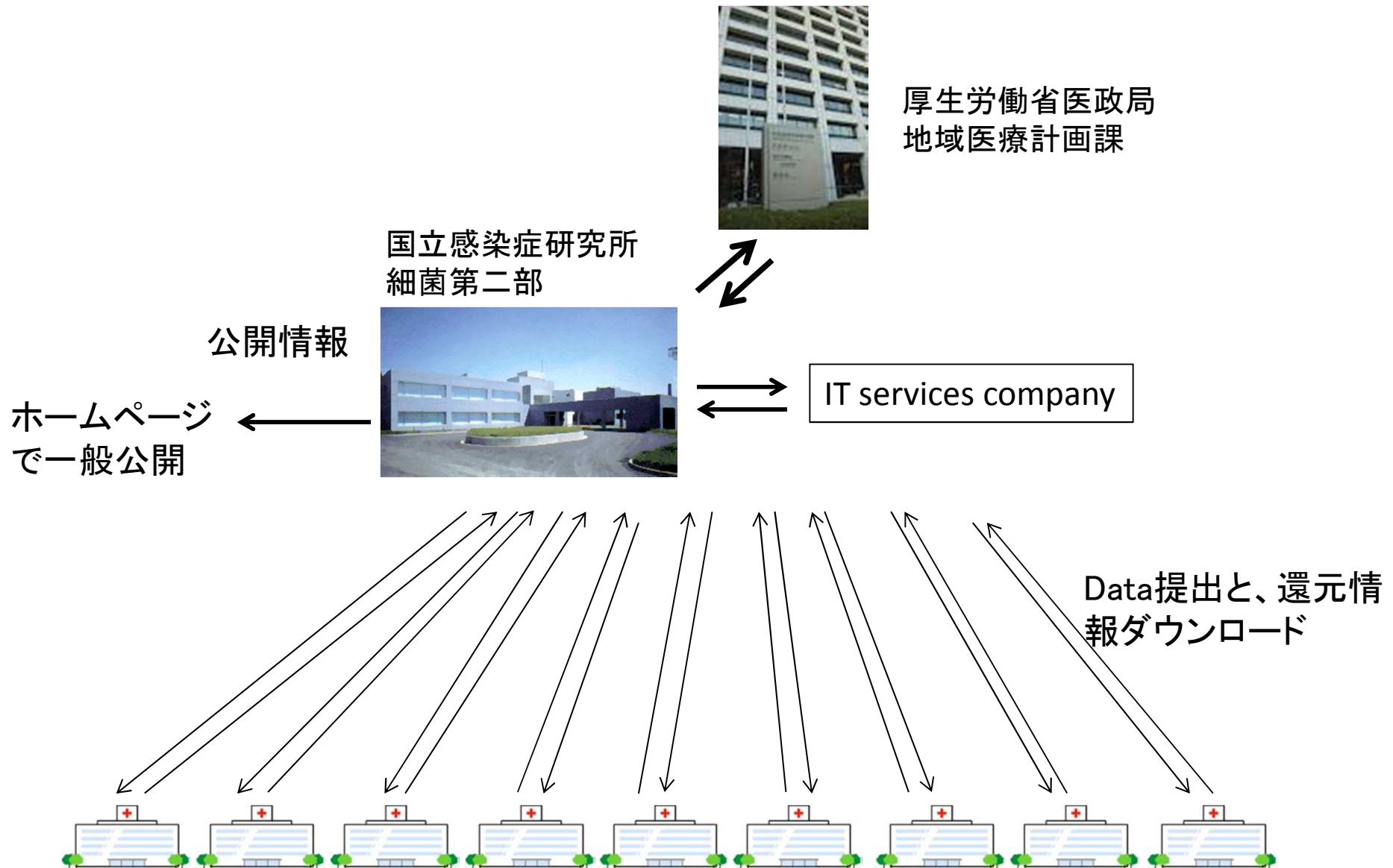
入院患者部門：870施設

SSI 部門：756施設

ICU 部門：188施設

NICU部門：113施設（2016年9月）

厚生労働省院内感染対策サーベイランス(JANIS)事業



③ 動物由来薬剤耐性菌モニタリング(JVARM)

農林水産省

出典: http://www.maff.go.jp/nval/yakuzai/yakuzai_p3.html

概要

食用動物における抗菌販売量、指標菌、食品媒介性病原細菌及び動物病原細菌の薬剤耐性調査を行い、動物用抗菌剤の有効性を確認するとともに、人医療への影響を考慮した薬剤耐性に関するリスク評価・リスク管理の基礎資料を提供する。

対象項目

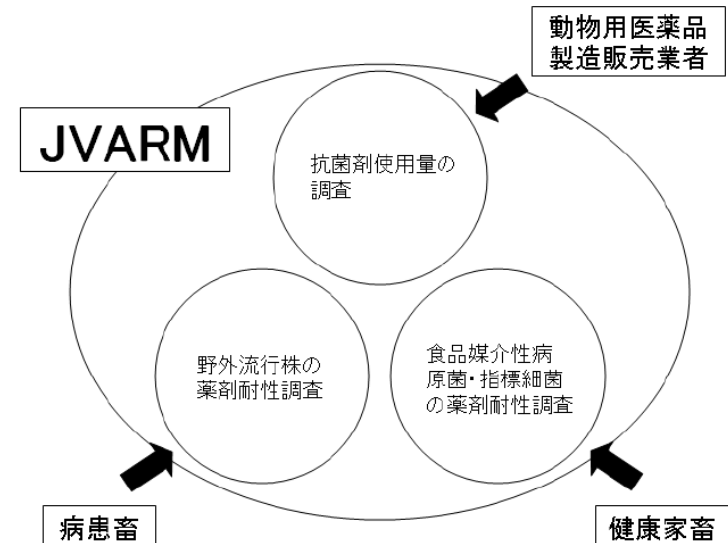
- ・健康家畜及び病患畜由来細菌の各種薬剤に対する耐性の割合。
- ・動物用抗菌剤の使用量(販売量から推計)。

対象施設

- ・家畜農場
 - (1)健康家畜のサンプリングはと畜場で実施
 - (2)病患畜のサンプリングは家畜保健衛生所が実施
- ・動物用医薬品製造販売業者

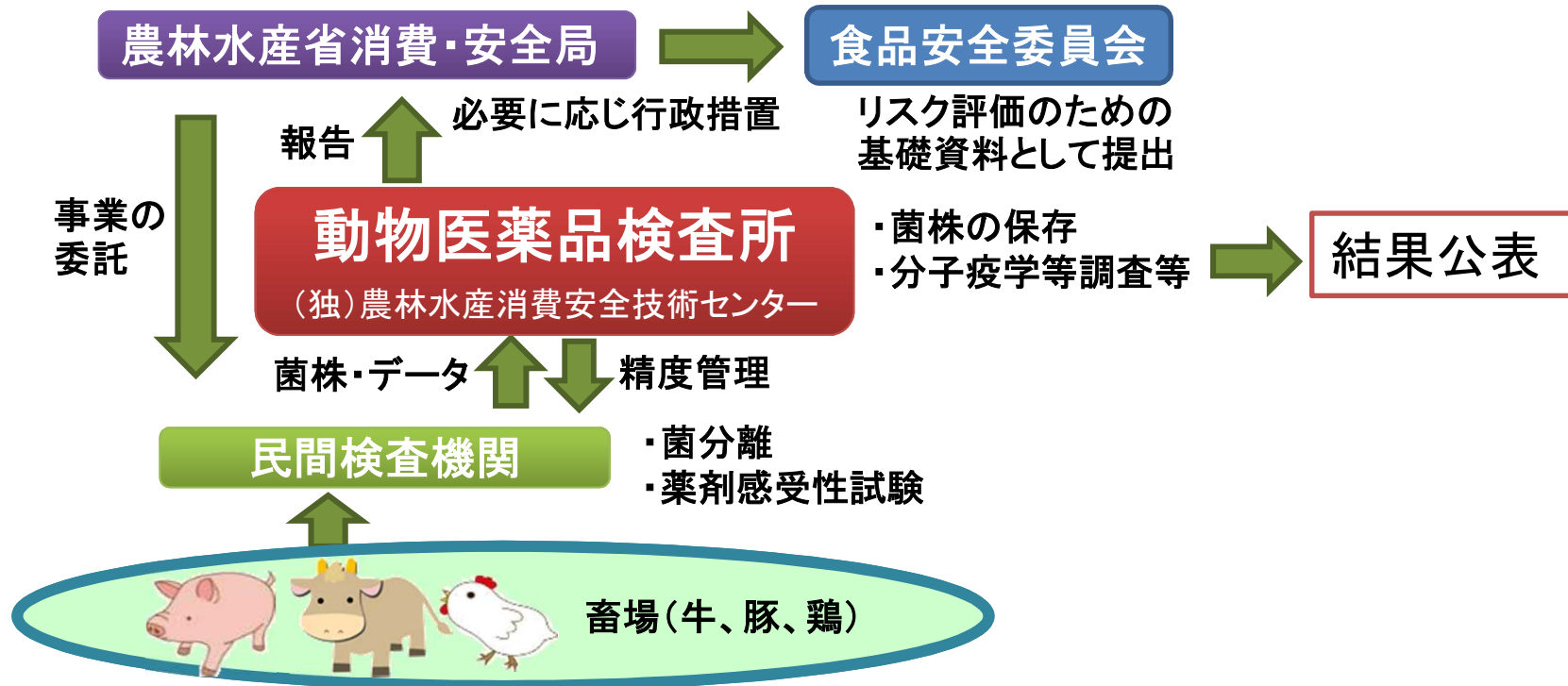
参加施設数

634農場(健康家畜;2015年6月現在)
全国の家畜保健衛生所・と畜場



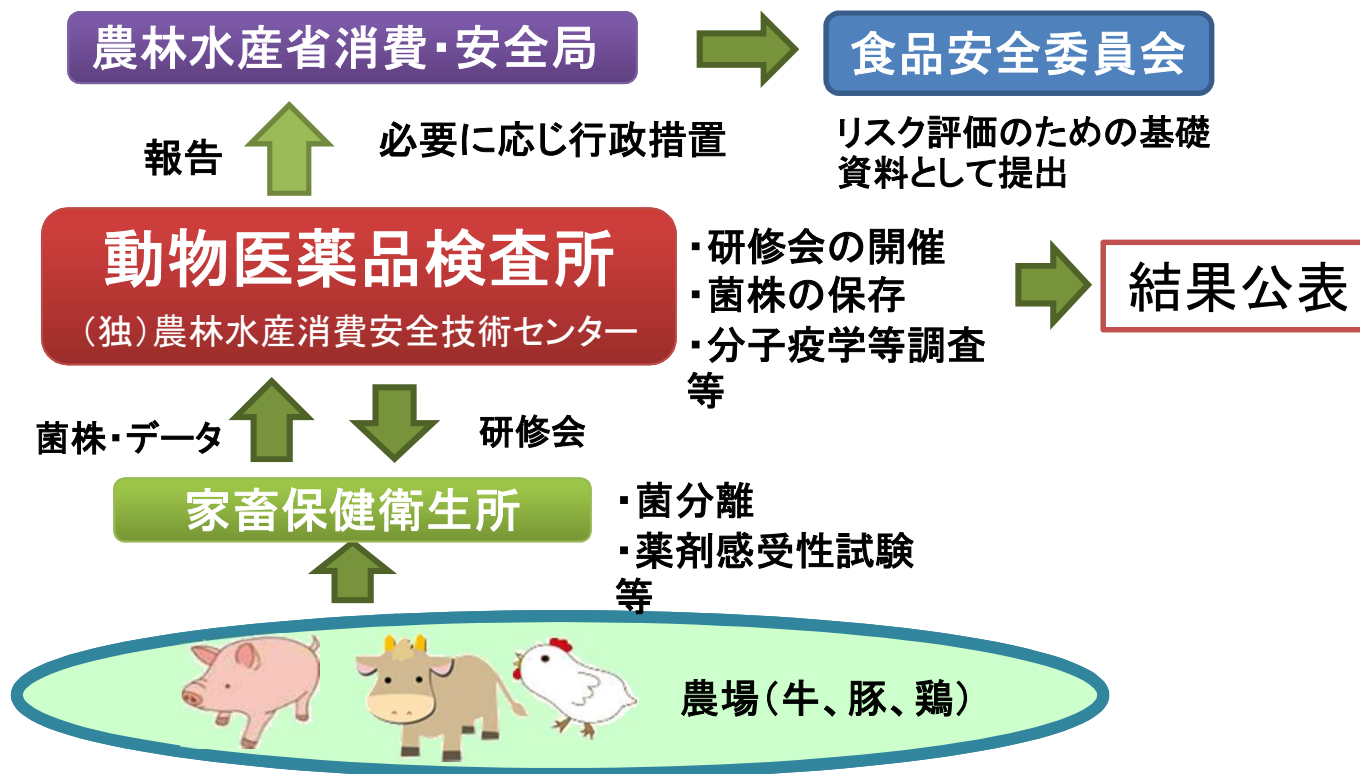
JVARMの健康家畜の薬剤耐性菌のモニタリング体制(1)

(と畜場におけるモニタリング)



JVARMの病患畜の薬剤耐性菌のモニタリング体制(2)

(農場におけるモニタリング)



④ 抗菌薬使用動向調査システム (JACS)

三重大学医学部附属病院

出典: <https://www.jacs.asia/>

概要

- ① 日本における医療施設の抗菌薬使用や感染対策の状況を経年的に把握できるネットワーク
- ② 日本におけるヒトに使用される全ての抗微生物薬の使用状況を経年的に把握する
- ③ 施設内・地域における感染対策・抗菌薬適正使用支援 (AMS) を推進するために利用可能であり、得られた情報をフィードバックすることにより、感染対策・感染症治療の質をさらに向上させ、国民に還元する

対象項目

注射用抗菌薬を使用した入院患者 (①)、全ての患者 (②)

提出データ

施設情報、抗菌薬使用量・使用日数 (①)、販売量 (②)

対象施設

医療機関 (手術可能施設及び入院設備のある病院、①)、クリニック含め全て (②)

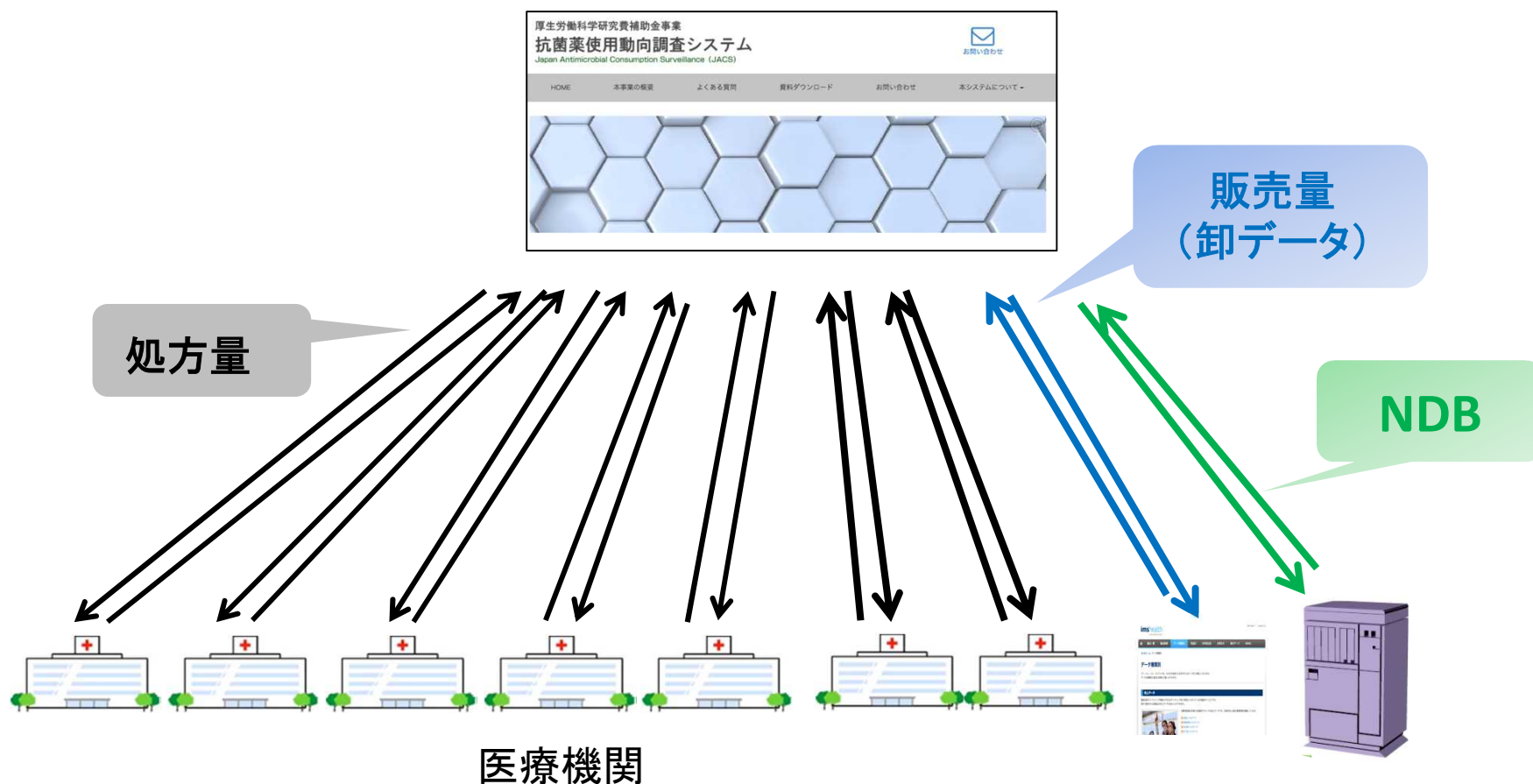
参加施設数

485施設 (2016年3月現在、①)

抗菌薬使用動向調査システム (JACS)

- 各施設は抗菌薬適正使用 (AST) のプロセス指標として利用できる。
- 販売量はやNDBを用いた情報に対しても容易に算出可能となり、使用状況が明らかになる。

JACS



⑤ 感染対策地域連携支援システム(RICSS)

東海大学医学部基礎医学系
生体防御学

出典: 感染対策の地域医療支援システム構想とその実現

概要

- ・標準化した方法で全国の医療施設の感染対策の実施状況とそのアウトカムに関する情報を収集する。
- ・JANIS検査部門とJACSと連携し、感染対策の実施状況とそのアウトカムに関する情報を収集し、それぞれのグループの評価に利用できる形で、集計、還元する。
- ・診療報酬加算に基づく地域連携を効率化するとともに標準化したデータの収集、還元により地域差の補正によって、地域連携に内在する地域差の問題を解決する。
- ・JANIS, JACS のデータをまとめたAMRサーベイ情報のデスクトップに使用することで、サーベイの効率化を図る。

対象項目

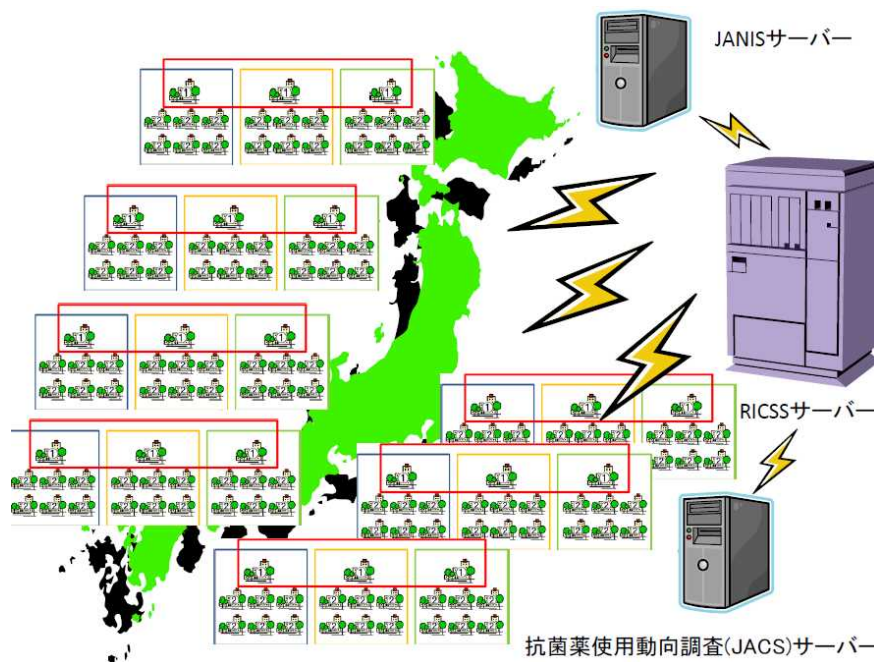
感染対策の実施状況、JANIS検査部門、
およびJACSのデータ、医療関連感染症

対象施設

JANIS検査部門参加施設、 JACS参加施設

参加施設数

JANIS検査部門参加施設数＋
JACS参加施設数



⑥ 医療関連感染サーベイランス(JHAIS)

日本環境感染学会

出典：http://www.kankyokansen.org/modules/iinkai/index.php?content_id=6

概要

- わが国におけるSSIの発生状況に関する情報を提供し、感染対策の推進を支援する。
- 中心ライン、尿道留置カテーテル、人工呼吸器という3種類の医療器具に関連した感染症の発生状況に関する情報を提供し、感染対策の推進を支援することを目的として実施するものです。

対象項目

- 対象とする手術症例の各々に対して、手術日、患者を識別できるコード、年齢、性別、手術日、手術手技分類、手術時間、創分類、ASAスコア、内視鏡使用の有無、緊急・待機手術の別、埋入物の有無、人工肛門造設の有無(結腸、直腸、小腸手術のみ)、SSI発生の有無
- SSI発生患者に対して、SSI発生日、SSI特定部位、培養検体の種類、分離病原体コード、皮下膿瘍の有無・縫合不全の有無・遺残膿瘍の有無(任意項目)
- 医療器具関連感染発症患者数、延べ入院患者日数、延べ医療器具使用日数

対象施設

医療機関(原則として19床以下を除く)

参加施設数

114施設(2016年3月現在)

⑦ 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス

出典: <http://www.3ssp.jp/>

日本化学療法学会
日本感染症学会
日本臨床微生物学会

概要

日本化学療法学会、日本感染症学会、日本臨床微生物学会の三学会合同事業
各種原因菌の主要抗菌薬に対する薬剤感受性情報を収集する。

対象項目

呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位感染、耳鼻咽喉科領域感染症、
皮膚科領域感染症、歯科・口腔外科領域感染症、小児科領域感染症

提出データ

各疾患対象菌種、抗菌薬感受性、

対象施設

全国の医療機関

参加施設数(施設)

呼吸器感染症: 77施設(2006-2012年)
尿路感染症: 104施設(2008-2012年)
手術部位感染: 27施設(2010年)
耳鼻咽喉科領域感染症: 5施設(2011年)
皮膚科領域感染症: 準備中
歯科・口腔外科領域感染症: 準備中
小児科領域感染症: 準備中